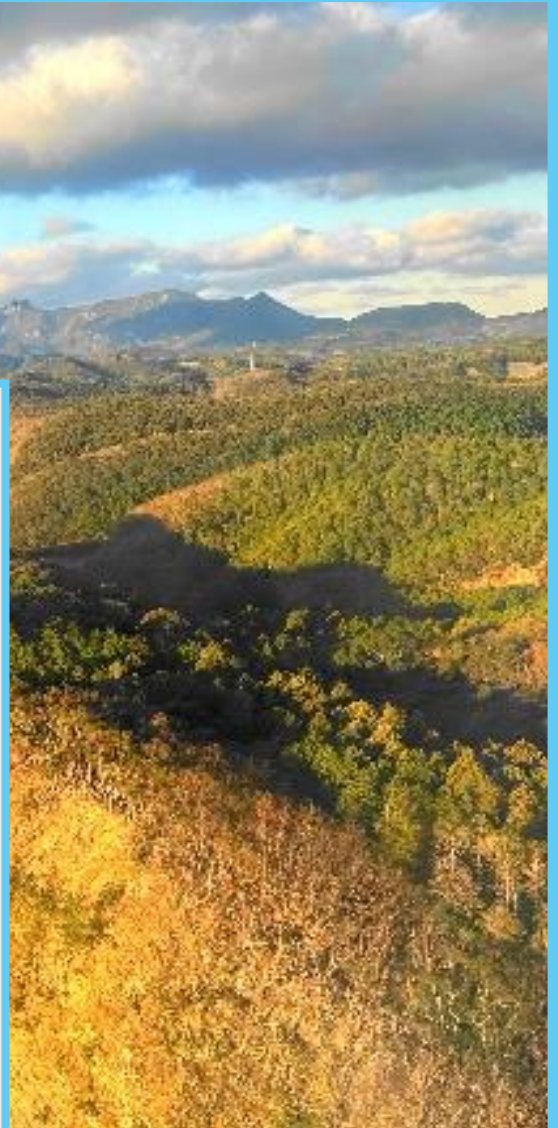




美津島町東海岸（空撮）



対馬暖流沿岸の海と人！

対馬今昔ー暖流と季節風との暮らし

入場無料

展示

自 2026年5月11日（月）  
至 2026年7月10日（金）  
（開場時間 10時～17時）  
（休館日 土・日・祝日）

場所 九州大学伊都キャンパス  
フジギャラリー

主催 九州大学大学院工学研究院  
環境社会部門生態工学研究室  
（准教授 清野聡子）

研究発表

「対馬今昔ー暖流と季節風との暮らし」

仁位孝雄写真展

「ふるさと対馬を撮る！」

- ①昭和の真ん中頃の対馬
- ②文禄慶長の役&朝鮮通信使



豊玉町西海岸（くじか浜）

国境の島の対馬を中心に、対馬暖流と季節風が織りなすダイナミックな自然と共生してきた暮らしの変遷を写真資料を中心に辿ります。

特に漁業を中心とした生活文化に注視し、自然共生社会の在り方を考えます。

また、写真家・仁位孝雄氏の写真のなかから、対馬海峡の歴史、隣国との国際性も紹介します。

問い合わせ先

九州大学大学院工学研究院  
環境社会部門 生態工学研究室  
〒819-0395 福岡市西区元岡 744  
電話番号 092-802-3437

企画内容問合せ先

清野聡子 [seino@civil.kyushu-u.ac.jp](mailto:seino@civil.kyushu-u.ac.jp)

写真展・講演会問い合わせ先

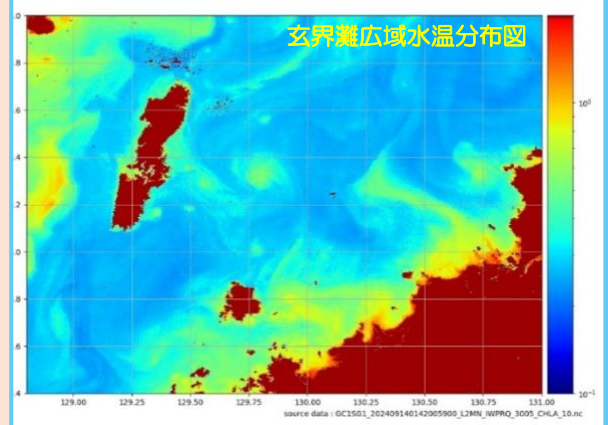
仁位孝雄 090-7156-8399

## ＜対馬海峡からみえる世界＞

対馬海峡は、日本列島と大陸とをつなぐ海の道です。あまたの生き物や物が往来し、人もまたこの海峡を渡って、交流、交易してきました。

近年、地球規模の海流や気象の可視化や、研究交流の国際化により、多分野から、再発見や再認識が進んでいます。

- ・主催 九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室  
准教授 清野聡子（九州大学韓国研究センター 副センター長）



### 「対馬暖流とは」

対馬海峡を通過する暖流で、海洋生態系、日本列島と大陸の気候にも大きく影響しています。豊かな水産生物資源、「海の道」を通じて、人の暮らしにもつながってきました。対馬暖流は黒潮の分流で、暖かい水が屋久島南から大陸に沿って北上、北海道まで到達して、太平洋へと抜けていきます。対馬海峡はもっとも狭まっているため、玄界灘には「対馬渦」が出来ます。近年は、海洋ごみ問題の文脈で語られることが多いのですが、本企画展では、本来の恵みの享受に立ち返りたいと思います。

清野聡子

対馬暖流沿岸の海と人！～ふるさと対馬を撮る！～  
仁位孝雄写真展&講演会「ご案内」

#### 【写真展】

- 1、昭和の真ん中頃の写真（イカのカーテン、対馬馬石屋根、藻刈船、藻小屋、亀トなどの写真）
- 2、文禄慶長の役&朝鮮通信使（韓国・昌徳宮、清水山城址、加藤清正肖像画、金石城址、福岡警固香正寺の日延上人像、龍野藩主の対馬道中絵巻、万松院などの写真：朝鮮通信使展は今回40回展となります。）

#### 【講演会】

日時：6月13日（土）14時～16時30分

場所：福岡アジア美術館・8階

テーマ：長崎県美術協会名誉会員 仁位孝雄

- ① 対馬のこぼればなし
- ② 文禄慶長の役&朝鮮通信使

九州大学准教授・九州大学韓国研究センター  
副センター長 清野聡子

- ① 対馬の海や地域の変遷

入場無料



後援（順不同）：対馬市 駐福岡大韓民国総領事館 九州大学韓国研究センター 福岡対馬会

在日大韓国民団福岡県地方本部 在日大韓国民団長崎県地方本部 長崎県日韓親善協会

長崎県美術協会 NPO法人長崎市美術振興会

（決定済を記載、他申請中）